



しまかぜ法律事務所 代表弁護士

## 井上昌哉

昭和57年三重県志摩市浜島町生まれ。名古屋大学法学部卒業。同大学時代に、暴力団に苦しむ人を救済しているという弁護士の講演に感銘を受け、「苦しむ人を救いたい」と弁護士になることを決意。平成21年に司法試験に合格し、平成22年の弁護士登録から5年間、21世紀法律事務所にて弁護士業務に従事する。様々な案件を取り扱ううちに、交通事故の被害者弁護にやり甲斐を感じ、平成27年に交通事故の被害者弁護に特化した「しまかぜ法律事務所」を開業。事務所名は、生まれ育った三重県志摩市浜島の海に優しく吹く風のように依頼者を癒やし、不安を除きたいという思いが込められている。



高校時代に、弁護士は権力から独立し、社会正義と人権擁護のために時には権力とも対決する自由独立の職業である（弁護士自治）ことを知り、自分の信念を貫いて仕事ができる弁護士に興味を持ち、名古屋大学法学部に進学しました。そして、同法学部時代に、暴力団に苦しむ人を救済しているという弁護士の講演に感銘を受け、強いものに屈せず自分の信念に基づき「苦しむ人を救える仕事をしたい」と弁護士になることを本格的に決意しました。弁護士登録から5年間は勤務弁護士として様々な案件を取り扱いましたが、交通事故案件において「交通事故の被害に遭って、働けなくなり生活に困っていたところを先生に救われた」「治療を打ち切られたが先生のおかげで治療費を支払ってもらえて本当に助かった」と感謝の言葉を多数いただき、より多くの交通事故の被害者を救いたいとの思いから、交通事故の被害者弁護に特化する「しまかぜ法律事務所」を開業しました。

### 仕事のSTYLE

交通事故の被害者は、加害者（保険会社）から賠償額を提示されますが、弁護士の腕次第でこの提示額を何倍にもして解決することが可能です。重大な後遺症が残って仕事ができなくなった被害者、一家の大黒柱を死亡事故で失って生活費のため大学中退も考えているご遺族など、当事務所へは様々な思いを持った被害者がご依頼に訪れます。適正な賠償額を獲得できるか否かで、依頼者の人生は一変します。そのため、依頼者が自分の家族であればどう行動するか、どう交渉するかを常に考えて弁護活動をしています。依頼者の人生を背負って弁護活動をするのですから、自分の家族を支えるのと同様、全力を尽くします。すべての案件において、依頼者の人生を考えて全力を尽くす、これが私のスタイルです。その結果、依頼者からの信頼を生み、「親しみやすく信頼できる先生だからこそ紹介したい」と依頼者から依頼者へ紹介の連鎖をいただき、今では年間300件以上の交通案件を受任し、そのうち死亡事故が年間約10件と多数の案件に携わっています。また、豊富な知識と経験を買われ、多数の医療機関や自動車会社から顧問を任されるまでに至りました。依頼者が家族であればどうするか、依頼者の人生を背負って全力でサポートするというスタイルを決して変えることなく、仕事を続けていきたいと思っています。

### 若者へのメッセージ

自分のやりたい仕事を見つけることは必ずしも容易ではありません。しかし、社会に出る学生時代だからこそ、OBやOGを通じて様々な職種を知る機会があります。せっかくの機会を無駄に過ごすのではなく、様々な職種の先輩に話を伺ってください。私も大学時代に弁護士であるOBの講演を伺って弁護士になることを決意しました。会社に勤務するのであれば、起業するのであれば、自分のやりたい仕事に対しては全力を尽くして行動すれば、必ず周りから評価されます。社会に出れば学生時代には経験しないような苦労が多々あると思いますが、苦労を乗り越えるだけの努力を継続すれば必ず結果となって現れます。何年後にはライバルを大きく引き離れた存在になると思います。

### 会社概要

- 企業名 しまかぜ法律事務所
- 所在地 愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12v アレックスビル3階
- 業種 弁護士事務所
- 事業内容 交通事故に特化し、被害者を徹底して救済する

※当サイトの掲載内容につきまして、取材対象者様より提供された情報を掲載しております。掲載情報の正確性について、株式会社QWERTYは一切保証しておりませんので、掲載記事は自己の責任において、ご利用いただくようお願いいたします。

Copyright ©  
Qwerty Inc. Co.,Ltd.  
All Rights Reserved.

Leaders Style

- ▶ LEADERS LIST
- ▶ CONTACT
- ▶ TOP

